

### 平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	元気な高齢者が集う、空き店舗活用事業
事業主体 (連絡先)	うすだ美図 (佐久市臼田 1935)
事業区分	(6) オその他地域の特色、個性を生かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,463,544 円(内支援金 1,061,000 円)

#### 事業内容

26年6月から平成27年2月まで空き店舗を賃借して、介護労働者の負担軽減また使いやすい介護機器の現状と最新機器の正しい使用方法を知っていただく機会と実体験の空間を作ることで、当事者の方々の不安解消と安心した介護の提供につながり、佐久総合病院の医師をはじめ理学療法士また福祉用具プランナーによるアドバイス実際に体験試乗することにより介護の現場の悩みと将来の介護の心配が解消され、介護を身近なものとして感じられ将来の不安を解消と安心した介護の提供につながり、腰痛などで悩んでいた方など介護の負担軽減を身近で感じてもらい、雨宮病院院長の講演など臼田地区は病院にも恵まれて福祉施設にも恵まれ、福祉、介護に関する最先端の街として空き店舗利用し病院来訪者や地元住民さらには商店主が地域活性化に寄与してて地域で活動している団体、事業者の活動成果の発表と住民とのコミュニティの機会をつくり、イベントについても統一したテーマ（健康・元気）をキーワードに開催しイベント期間中は商店街を回遊できるようにし、JA厚生連佐久総合病院の協力による「健康講座」などを開催した。以上行った。



【健康講座】

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 6月佐久病院副院長講演会42名参加介護用品体験
- ② 10月理学療法士勉強会25名参加介護機器体験
- ③ 2月雨宮病院院長勉強会45名参加
- ④ 身近に福祉用具を体験できた。
- ⑤ 展示を一日10名ほどの見学体験者

#### 【目標・ねらい】

- ①多くの方に見て体験もできたので身近に知ってもらった。
- ②健康意識が強まった
- ③地元の人のつながり強化できた
- ④高齢者に介護の不安解消できた

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後は、空き店舗を活用し空き店舗を減らして、さらに活用し地元地域資源の連携による事業創出の場として産業活性化のさきがけとなりたい。健康講座や要望の多かった、介護講座や、地域の企業、学校、病院、とのつながりができました。さらに深めて地域の方に知っていただく機会を持ちたいと思います。

#### ※自己評価【B】

##### 【理由】

健康をテーマにした講演は、人気があり好評をいただき、美図の活動も徐々にではあるが認知されてきた。

(別記様式第12号) (第3の8関係)

- ※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた  
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある